

だんだん



未来に向けた発展の炎

2月20日(金)から22日(日)までの3日間開催された第60回十日町雪まつり。記念すべき今回の雪上カーニバルの舞台は、国宝火焰型土器をデザインして制作されました。テーマは「未来へつなぐ愛の炎」。灯された炎が未来に向けた地域発展の炎となるようにとの願いが込められました。

愛称「だんだん」は、方言のあいさつ「だんだんどうも」、「河岸段丘・棚田」、「ステップアップ」などを表しています。

主な内容

- 第60回十日町雪まつり開催 2-7
- 協働のまちづくり情報 8-11
- トキめき新潟国体冬季大会スキー競技会 12-13
- 第3回地域振興フォーラム開催/雪アートプロジェクト 14-17
- 定額給付金/子育て応援特別手当の申請 18-19
- 長寿医療制度/国民健康保険 20-21
- 年度末の市役所窓口業務/下水道のお知らせ 22-23
- 地域の風へ支所からのたより 24-25
- ときめきネットワーク/あいどるきゃっちほか 26-27
- まちの話題 TOPICS /お知らせ・ガイドほか 28-31
- ジュニア芸術祭-鎧島小学校- 32



市街地の通りを飾るとりどりの雪だるま



オープニングでの森の保育園園児による元気なステージ



市内の園児たちが作った雪だるま短冊（駅通り商店街）

十日町雪まつり 観て歩き



観光客に案内する金子さん（写真中央）

観光客に案内する金子さん（写真中央）

十日町観光ガイドの会
金子又市さん（田川町3・74歳）
雪の中、不安を持って訪れる人も多いので、少しでも安心してもらえるようにお客さんの身になって説明するように心がけています。言葉遣いもそうです。即、十日町の印象に

雪まつり事務局がある本町分庁舎入口に構えられたボランティアガイド案内所。人通りの多い本町通りの中心にあって、多くの観光客が訪れます。ボランティアガイドの皆さんは雪まつり期間中の3日間、延べ約30人が交代で案内所に詰めるとともに、市街地巡回バスに乗って観光ガイドを行う、まさに十日町の顔。

平成17年に「十日町観光ガイドの会」が発足し、現在、市民20人が加入して雪まつりのみならず市のイベントで活躍しています。

大観光交流年を支える 十日町市の案内役 十日町観光ガイドの会



いかと雪まつり実行委員会が募集していたボランティアに応募したのがきっかけです。かれこれガイド歴13年になります。雪まつりの1日目にはガイドみんなでひろばや雪像制作場所を回り、より多くの情報を提供できるようにアピールポイントをチェックします。お客さんは、ま

十日町雪まつり開催

現代雪まつり発祥の地 先人の思い新たに



2月20日（金）から22日（日）の3日間にわたり開催された第60回十日町雪まつり。記念すべき今回も、全国各地から多数の来場があり3日間で延べ30万人の人数でにぎわいました。暖冬少雪で雪不足に悩まされる中、各地区のひろば運営や雪像作りも例年規模を維持。雪上カーニバル会場もダンプで雪を運び入れ無事完成し、国宝火焰型土器をモチーフにした雪像舞台で華やかなステージが繰り広げられました。

十日町小唄を踊るカーニバルなどでつらい冬を楽しく過ごそうと市民が動き、札幌雪まつりより2週間早く開催したことから、十日町市は「現代雪まつり発祥の地」としています。豪雪に見舞われても、また暖冬少雪で雪不足にさいなまれても、60回を迎える現在も先人の思いは一貫として受け継がれ、冬の日本海側を代表するイベントになっています。



制作中の舞台の前で

雪像舞台制作の陣頭指揮に当たった
新潟県建設業協会十日町支部
青年部会長 吉楽健一さん

記録的な少雪でしたが、ダンプカーで約1,900台の雪を搬入したおかげで、予定どおりの規模で制作することができました。今年のはりハルサルが早まり、金曜日の午前中には完成しなければならなかったのが、早めのスケジューリングで進めました。ザラメ雪で踏み固められなかった上に、雨に降られたり暖気で足場まで緩んでくるという悪条件でしたが、終盤になって寒くなってきたのですばらしい舞台ができました。



熱戦 ツマリアンボール

十日町生まれの雪上バレーボール。円形のコートで3組が試合を行う人気スポーツに、今年も56組が出場。バレーボール元オリンピック代表選手の大林素子さんも出場して大会を盛り上げました。



ミス十日町雪まつりコンテストのイベントには落語家の桂歌助さん、平成11年に真打に昇進。十日町市出身で、市の観光親善大使としても活躍しています。

決定！ 第28代 ミス十日町雪まつり



22日(日)にクロス10で行われた「ミス十日町雪まつりコンテスト」本選会には、予選を通過した15人が出場。審査の結果、第28代ミス十日町雪まつりに進村洋子さん(十日町市・写真左)、阿部恵美子さん(十日町市・写真中)、市島未希さん(新潟市・写真右)が選ばれました。3人は1年間、市の親善大使として活躍します。



通りを歩く人に甘酒の無料サービス(本町三丁目)



J R 臨時列車の乗降客をミス十日町雪まつりがお出迎え



雪像作りに参加した中国ハルビン市と南さつま市の皆さん



南さつま市の皆さんが制作した雪像「星空のペガサス」

十日町雪まつり
観て歩き



エコでクリーンなイベントを実践。マイカップやマイはしの持参、リユース食器の利用などで会場のゴミは市指定大袋3つに減量。

雪像ステージ 真冬の野外フェスに沸く 豪雪 JAM



樋熊篤史さん(左)と委員の田中博史さん(本町1・35歳)



前日の余韻覚めやらぬ雪上カーニバル会場。22日(日)には、今年で2回目となる「豪雪JAM」が開催されました。全国に先駆け、真冬の雪上野外フェスで十日町市を広くアピールしようと若者有志が企画。JAM音楽に浸りながら自由な雰囲気の中、6時間にわたるライブに延べ2,000人が来場しました。主催した「豪雪JAM実行委員会」のスタッフは約70人。代表の樋熊篤史さんに聞きました。

フェス＝音楽イベント、フェスティバルの略
JAM＝演奏者が集まり、ひらめきや即興、バンド全体の自由な掛け合いなどで繰り広げる演奏

樋熊篤史さん(本町7・35歳)

このすばらしい雪像ステージが、雪まつりカーニバルだけで終わってしまふのはもったいない。十日町ならではの企画ができないかと、昨年、真冬のライブ「豪雪JAM」を開催しました。われわれ地元若者のフットワークを生かして「十日町を全国に広め、そして豪雪地にも全国から人が来てくれる」そんなことを目指しました。東京で手配した大型バス2台は即満席。参加した5組のアーティストたちの理解もあり、全国にない雪と音楽を楽しむ祭典に、こうして全国からJAMファンが集まってくれました。十日町から冬の新たなスタイルを作りたい。そんな夢を追いかけています。



十日町雪まつり
キャラクター
ネージュくん

雪上カーニバルやウェルカムセレモニーなど十日町雪まつりのあちこちの会場で活躍するネージュくんは、子どもたちの人気者。ネージュ(neige)は、フランス語で「雪」の意味です。ネージュくんは、雪の結晶の形をした角と背中に小さな翼がある雪の妖精です。旧松之山町出身のファッションデザイナー小野塚秋良さん(ZUCCA)が考案し、平成4年の第45回十日町雪まつりから登場しました。現在は、雪まつりだけではなく年間をとおしてさまざまなイベントで十日町市をPRしています。

ネージュくんを見たら気軽に声をかけてね！

服部宗裕社中、双葉会、徳永宗久社中、田村宗泰社中、翠楽会の皆さんによる雪上茶室
(21日・22日 十日町高校グラウンド)



「郷土芸能と民謡の祭典」に8組が出演。食と演芸を楽しめる人気のコーナー
(22日 市民体育館)





十日町市長賞
「騎龍弁天」
(本町1丁目四区合同)



十日町繊維工業協同組合理事長賞
「ありがとう六箇小学校」
(田麦有志と日本大学芸術学部)



十日町北ロータリークラブ賞
「愛」
(関浅四季の会)



十日町地域森林組合長賞
「門」
(真生会 く水内貴英とゆかいな仲間たち)

十日町市議会議長賞
「十日町の新しい響 パルテノンのメドゥサ」
(本町7丁目 三和町 町内会)



新潟県建設業協会十日町支部長賞
「喝!!」
(水沢雪まつり会)



十日町平成ライオンズクラブ賞
「『慈愛』ーいつくしみ 愛することそれは…ー」
(城之古青年会)



三国コカ・コーラボトリング賞
「AQUA PLANET (アクアプラネット)」
(三春会)

雪まつりの原点「雪の芸術展」には、芸術部門32点、特別部門17点、学童部門15点の計64点が出展されました。芸術部門の審査会は20日(金)の夜、2隊に分かれて行われました。入賞22作品を紹介します。

今年の特別表彰は下記の6団体です。

特別表彰団体	連続出展10年	水沢雪まつり会
	通算出展15回	南新田1・2・3丁目合同新和会
		水沢雪まつり会 のぞみの郷新塾会
	通算出展25回	赤倉雪まつり実行委員会
	通算出展45回	十日町青年学級



十日町市文化協会連合会長賞
「サライ・こころの故郷 (ふるさと)」
(学校町1丁目町内会)



地元新聞社賞
「モーやだよ」
(新和会)



審査員賞
「丑 モー」
(のぞみの郷 新塾会)

純白の造型美 雪の 芸術作品展



十日町商工会議所会頭賞
「飛ばされた座布団 ぞ 軍配」
(上新田青壮年会)



十日町ロータリークラブ賞
「ヤマタノオロチ」
(晒青会)



麒麟ビール賞
「雲のじゅうたん」
(ひのスノーマン)



十日町市長賞
「はちゃね。」
(本町5・6丁目商店街振興組合)

十日町市観光協会長賞
「天神回生 ー龍谷の乱ー」
(アウト・ドア・ファミリー4クラブ)



十日町農業協同組合会長賞
「学び新たに」
(愛ing下条)



十日町ライオンズクラブ賞
「『共生』～wish～」
(ゆきゆきボンバー Yeah!!)



ほくほく線賞
「マリオの海物語」
(下条いなかっぺ大将)



十日町市商店街振興組合連合会長賞
「枯木又 龍神伝説」
(北新会 with 新田イベント研究所)



十日町青年会議所理事長賞
「スーパーヒーロー日本を救う」
(南花水農産)



審査員賞
「牛にひかれて 神楽の郷」
(赤倉雪まつり実行委員会)



協働のまちづくりフォーラム開催

くいま私たちが動くときく



3月1日(日)、市民会館ホールで「協働のまちづくりフォーラム」が開催され、地域活動団体関係者や一般市民、市議会議員、市職員など約330人が講演や協働のまちづくりモデル事業候補の発表などをおして意見交換をしました。今後は、モデル事業候補の絞り込みや推進指針の検討などを経て、モデル事業の実施へと向かいます。

●まちづくり講演

いま協働のとき

く市民・議員・職員・首長は何をすべきかく

講師 東京大学名誉教授 大森 彌^{わたる}氏



◆東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。法学博士。

◆東京大学教養学部教授、同学部長を経て東京大学名誉教授。専門は行政学・地方自治論。

◆地方分権推進委員会専門委員、日本行政学会理事長などを歴任。現在、内閣府独立行政法人評価委員会委員長などを務めるほか全国各地の自治体での地域づくり指導など活躍中。

住民自らが合併を検証

当地で行っている米の「十番勝負」はいいですね。日本人は米を食べるべきです。農業は古来からの知恵の結晶、知的な職業です。皆さんは、そんなご飯を毎日食べられるから幸せです。これが地域の原点です。

平成の大合併は政治主導で行われました。二つの意味があり、一つは地方分権の受け皿として、できるだけ大きな基礎自治体にするためでした。二つ目は、国から自治体に配分される地方交付税を減らし、財政効率を良くするためでした。

だから住民は、自分たちが払った税金がどれくらいで、どう使われているのかを分かっている必要があります。当然のことながら、役所は1円たりとも税金を無駄にしてはいけ

議員も職員も能力を磨け

これからは、地方自治法や地方公務員法の改正が相次ぎ、議員も職員も厳しい時代を迎えます。

公務員は、首長が替わっても議員が替わっても替わることはありません。行政の混乱を避けるためには、それだけ安定した身分が必要だからです。しかし、その身分に安住してはいけません。全力で首長、議会を補佐し、住民のために働かなければなりません。いままで以上に人事評価が強化される必要があります。住民も人事評価できるのです。ひぼう中傷ではなく、住民のために仕事をする職員を、しかるべき部署・ポストにつけるように言うべきです。

議会でも、議員定数の上限は撤廃され、議員の仕事と報酬の関係が大きく見直されることになります。つまり、いままでのような地域代表の延長では議員は務まらなくなり、議会自体が住民参画を進め、質問するだけでなく答弁する能力も磨いて議員立法をどんどん進められます。そのうえで、議会基本条例を議会自らが制定するくらいになってほしいと思います。

住民も、利便の「口利き」を依頼するようなことは、絶対にしてはいけません。

満足から納得の時代へ

自治体に経営感覚は大事ですが、市場原理とは違います。マーケットサービスには値段がついています。自治体サービスには値段がついていません。「おれはあの道は通らないからその分の税金は払わない」という論理は通らないのです。行政サービスは住民の欲望を満たすためのものではありません。本来、個人や家族、地域ではできないことをやるものなのです。しかし、ある時代から、地域でやるべきことまで役所でやるようになってしまいました。

自治体は、住民ニーズの多様化に合わせて新規の行政サービスに多くのエネルギーを割いてきました。しかし、ぼう張する時代は終わり、いままでの事業を評価し、廃止すべきものは廃止するようになってきたのです。つまり、役所の仕事は「住民満足」の達成ではなく、「住民納得」の達成を目指すようになってきているのです。そこに協働という概念が入ってきています。

しかし、うわべだけの協働ではうまくいきません。実際、役所と住民の協働は難しいものです。役所は縦割りの世界、上司と部下の関係を超えて対等に横につながっていくのは並大抵のことではできません。まず、住民同士がやってみせることが大事

どんどん仕掛けよう

高齢社会はいい時代です。なぜなら、地域の担い手が増えていくからです。今や85歳以下は高齢者とはいえません。元気な65歳以上が協働の大きな担い手になります。

自立と支援はセット。プライバシーをある程度共有してお互いに手を差し伸べられる関係を築くと、地域の活動はやりやすくなります。さら

として、ホ力ホ力した人間関係を作ることが大事です。協働は、複数の「活動する主体」が「対等に横」につながって「共通の目的」で動くことです。横につながるのには難しいことですが、明治維新を見習って、とにかく乗り出すことです。それには、役所の目指していることと住民が求めていることがいっしょになるように、今回提案されたモデル事業のようなことを、どんどん仕掛けて行くことが大事です。良かったら続ける、悪かったらやめるくらいのスタンスで。

●協働セッション

いま見えてきたこと

〈市民・行政の声からモデル事業へ〉

モデル事業候補発表

協働のまちづくり推進プロジェクトチーム

コーディネーター

内田 文雄氏（山口大学大学院教授／市ステップアップ委員）

寺川 重俊氏（寺川ムラまち研究所代表取締役）

11のモデル事業を提案

協働セッションでは、市民と市職員
の合同プロジェクトチームで検討
を進めてきた経過や今後の予定、「協
働のまちづくりモデル事業候補」が
発表されました。

市民、市職員合わせて47人のプロ
ジェクトチームが1産業、2防災安
全、3福祉・子ども、4生涯学習、
5地域づくりの5つの班に分かれ
て、市民活動団体ヒアリングや行政
ヒアリングを経て見えてきた課題を
ふまえ、提案したモデル事業候補は
11。それぞれの思いを込めて発表し
ました。

進行はプロジェクトチームのコー
ディネーターを務める寺川重俊氏
で、市ステップアップ委員の内田文
雄氏が、各モデル事業候補の評価で
きる点や課題などについてコメント
しました。（以下敬称略）

寺川 チームでの検討は全体会議



と班別検討
会の繰り返し
で行いま
した。前提
となる現状
認識のため

に、市民活動や行政の取り組みのヒ
アリングを行いました。内容は会場
にも張り出しているとおりぼう大で
すが、議論を進めていく過程である
程度課題が絞られています。これか
ら発表するのは、モデル事業の候補
で、今後詳細を詰めていくことにな
ります。

高橋 剛 市民活動団体と行政の
ヒアリングを通じて感じたことは、
市民も職員も横につながっていき
たいという共通の思いがあるという
ことです。ほかの地域の事例をそのま
ま十日町市に当てはめても、うまく



いくわけは
ありません。
こうし
た思いをつ
なげていく
活動を、地
道にしてい
きたいと思
います。

1 見つけて活かそう

賑わいスペースプロジェクト

久保田 学



空き店舗
の実態がよ
く分からな
いことか
ら、土地や
民家も含め
て借りたい
人、貸しも
いい人の情
報を集め、
広く市民に
事業企画を
公募します。
優秀な企画
提案を選ん
でコミュニ
ティビジ
ネスなどに
結び付け
ていきたい
と思います。

2 十日町市棚田プロジェクト

関谷 美和



市内の美
しい棚田、
味わいのあ
る棚田など
を募集しま
す。応募さ
れた棚田を
十日町市棚
田百選とし
て認定し、
内外にPR
していきます。

た、棚田を体験するプログラムを
実施したり、保全活動支援などを企画
・実施し、みんなで守っていきます。

3 雪の国のおはなし

俵山 修司



雪に関す
るマナー向
上のため
に、情報紙
を利用して
雪対策事例
や雪の達人
などの紹介
をします。ま
た、都市向
けに雪の魅
力などの情
報を発信し
ます。情報
をまとめて
「雪の国のお
はなし」を
作り、みな
で雪対策の
あり方を再
確認します。

4 支え合いの雪国生活

南雲 昌弘



モデル地
区を選定
し、冬の除
雪をはじめ
身近な日常
生活の支援
を地域でど
のようにで
きるかを検
討し、協働
の取り組み
を進めます。
その際、地
区相互の支
援や中山間
地と市街地
などの広域
連携による
支援の可能
性やあり方
なども検討
します。

5 みんなで創る安全安心マップ

星野 康



モデル地
区を選び、
多様な世代
の参加によ
り「まち歩
き」などの
検討を重ね
て、災害時
などに役立つ
「安全安心
マップ」を
作ることに
します。また、
障害者など
の参加を促
し、相互理
解を深める
機会としま
す。

6 つなげよう！子育ての輪

柳 英一



子育ての
情報が伝わ
りにくいこ
とから、保
護者、支援
団体、保育
園、行政な
ど、子育て
支援にかかわ
る人たちが
一堂に会す
交流会を催
します。こ
れを機に、
継続的な交
流・連携の
あり方や情
報提供の拠
点づくりを
検討し、実
現を目指し
ます。

7 ステューデント・ジョブ・プロジェクト

金沢 純也

進路など
高校生の悩
みや社会へ
の疑問など
をともに考
え、それに
応え



る地域の
人材を発掘
する機会と
して、若者
と大人の出
会いや体験
の場を企画
します。そ
の際、「ユース
・カフェ」と
いう若者の
たまり場づ
くりの取り
組みと連携
していきます。

8 スポーツ交流いきいき広場作戦

池田 信夫



国体に感
動した記憶
も新しいこ
の時期を逃
さず、総合
型地域スポ
ーツクラブ
や市民が集
まるスポーツ
施設を有効
に活用して
いくことを
検討し、実
践していきます。
また、団体
同士の交流
・情報交換
の拠点づく
りも検討、
実現を図っ
ていきます。

9 みんなの芸術祭・おもてなし事業

樋口 道子



芸術祭に
訪れたお客
さんを大事
にするため
に、地域独
自のおもて
なし活動の
企画を募集
し、公開審
査で

10 十日町市マルネット

小林 昌樹



イベント
に関する物
品や人材、
支援事業な
どの情報共
有が進んで
いないこと
から、地域
づくりやイ
ベント関連
団体同士が
、情報交換
のきっかけ
となる交流
会を市民参
加で実施し
ます。活動
の中から情
報交流の拠
点づくりを
目指してい
きます。

11 わくわく広場プロジェクト

渡貫 文人



モデル公
園を選定
し、地区住
民の参加に
より公園活
用や管理の
あり方の検
討を重ね、
公園の有効
活用を促進
していきます。
検討には、
地区の多様
な団体・年
代の参加を
募り、幅広い
活用を目指
し改修につ
いても検討
していきます。

樋口 世史子 今日発表されたモデル候補を



実践に向け
て詰めてい
く過程で、
協働のまち
づくり推進
指針の検討
も進めます。
新年度には
モデル事業
に取り組み
ながら指針
の見直しや
、新しい支
援策などの
検討も行い
ます。皆さ
んの参加を
お願いします。

内田 どれも、市民ヒアリングや



行政ヒア
リングをと
おして導き
出した背景
や課題に基
づいて企画
されている
だけに、説
得力があり
ます。具体
化していく
には実施主
体や対象、
たとえば高
校生とのか
かわりをど
うやって作
っていくの
かなどで、
課題がある
と思いますが
、実践のな
かで解決し
てほしいと
思います。

それが、協
働のまちづ
くりにはど
うしても必
要なプロセス
です。

●問合せ 総合政策課協働のまちづ
くり推進室 ☎757-3693
(内線237)

国体開催地を給食で実感



市内小・中学校37校で、2月16日(月)から20日(金)までの期間、トキめき新潟国体冬季大会に合わせて、「わくわく！パクパク！国体給食週間」が実施されました。これは、競技が開催される各会場の郷土料理や特産品を給食のメニューにすることで、食に関心を持ってもらい、同時に応援ムードを高めようと、十日町市・津南町の学校栄養教職員たちが企画。メニューにはそれぞれの市町の特色が生かされていて、妙高市のかんづりを使った料理や上越市の「スキー汁」などが調理され、話題になっていました。川西学校給食センターの鈴木代里子栄養主査は、「食物繊維も多く栄養のバランスもいいです。郷土料理を味わって地域の食材に目を向け、愛する心を持ってほしいです」と話していました。20日には妻有パークのメンチカツや城之古菜のひたしがメニューを飾るなど、子どもたちは給食でも国体の思い出を刻みました。

トキめき新潟国体冬季大会スキー競技会

地元国体支えた地域のもてなし

2月18日(水)から20日(金)までの大会競技期間中、吉田クロスカントリー競技場には応援などの観戦者が延べ約7,500人、選手・競技関係者なども含めると総勢約10,000人が来場しました。選手たちの活躍もさることながら、おとしからの全国3大会を支えた地域の各取り組みが、大会を盛況に導きました。



高校生による競技役員補助



吉田小学校児童による地元食材のPR

小泉国体部会「トキめきひろば」のもちつき

吉田地区振興会のとん汁サービステント

市外から、大会に参加した選手の声です。



望月崇之さん
(八海高校)

少年男子(クラシカル10km)・少年男子リレー新潟県チーム 優勝

うと集中できました。期待に応えられてよかったです。



高堰美里さん
(秋田県米内沢高校)

少年女子(クラシカル5km) 優勝

自分の持ち前以上の力が出せ、いいレースができました。メンバーに恵まれたことや会場の温かい雰囲気

地元の皆さんから歓迎してもらって光栄です。おかげで気分よく大会に臨めました。表彰で地域の皆さんから贈呈されたお米は、十日町の思い出として味わいたいです。

地元国体の成果 国際大会開催へ

「庭野さんに励まされると気合いが入るんです」と、選手たちの厚い信望を得ている、庭野鉄雄さんは選手たちの心の支え役。十日町総合高校で23年間、クロスカントリースキーの監督として指導にあたるとともに、市内での選手育成に務めてきました。平成13年に十日町市スキー協会会長に就いて以降、国体を十日町市と湯沢町などの分散開催で実施することにも尽力してきました。

平成19年の全日本スキー選手権、昨年の全国高等学校スキー大会、そして今年のトキめき新潟国体と、3年連続で吉田クロスカントリー競技場を舞台に開催した全国規模の大会に思い入れがあります。庭野さんにトキめき新潟国体を振り返ってもらいました。

トキめき新潟国体冬季大会等
十日町市実行委員会副会長

庭野鉄雄さん(高田町3・65歳)

やってよかった。全国に十日町市の情熱を発信できました。みんなの力で大きな大会が成功したこと心から感謝しています。

国体本番の今年に限って雪不足で、役員や地元の皆さんにはお骨折りをいただきました。何のおかげか大会間際に雪が降りはじめ、競技に支障なく大会を行うことができました。トキめき国体に合わせて、十日町に飛んできた朱鷺のおかげかね



リレー競技でスタートフラッグを振る庭野さん

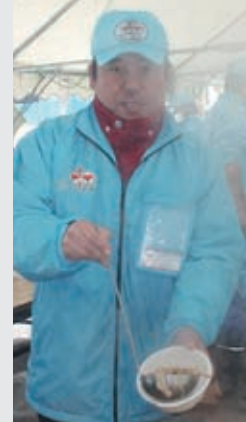
(笑)。新潟県が総合優勝で有終の美を飾り、特に十日町勢の活躍が光った大会だったことが何よりです。そして、地域の皆さんの来訪者へのもてなしは、大会開催の印象を大変良くしてくれました。今までの大会で、このような接待はまずありません。とん汁やもちのふるまい、歓迎セレモニーや会場のしつらえなど、来る人を歓迎する温かい心が大会を成功に結び付けてくれました。3大会が終わりでしたが、これぞ中だるみをすることなく、今後もジュニア選手育成や各種大会の受け入れ態勢の整備を図っていかねばなりません。十日町にとってスキーは文化です。せっかく良い競技場があるわけですから、この3大会の経験をもとに、次は国際大会を目指したいです。

野上二三夫さん(高島1・60歳/吉田地区社会福祉会副会長)



吉田地区振興会が運営したとん汁の無料サービスコーナーに、大会会員の皆さんからも賛同いただき、吉田地区商工振興会の皆さんとともに、準備も含め3日間協力してもらいました。大会期間中、毎日テント内は騒然としましたが、それだけ多くの人がこの吉田に来てくれたんだと思ううれしかったです。普段は地域のお年寄りへの福祉活動が主ですが、地区で開催される大会を盛り上げようととしの大会から行っている振興会のこの活動に加わりました。地域を挙げた大会の開催に協力でき、多くの皆さんから喜んでいただけて良かったです。

馬場隆広さん(小泉・41歳/小泉国体部会会長)



小泉国体部会では「トキめきひろば」として会場内にテント11張りを

開設して、とん汁やつきたてもちの無料サービスをを行い、多くの皆さんからおいでいただきました。お腹を満たして目いっぱい応援してほしいですからね。選手も頑張ってくれて、いい結果を出してくれたし、地域も盛り上がったのでやりがいがありましたよ。中越大地震で全国の皆さんからいただいた支援に恩返しをしようにとおとしの大会から実施し、婦人会や嫁会、老人会、そして子どもたちも協力してくれました。この年齢層を越えた一体感が、今後の地区の一層の発展につながれると思います。

林真砂子さん(山崎・60歳/林屋旅館 クロスカントリー新潟選手宿泊)



宿泊していただいた選手たちは、みんな馴染みがあつて、心から応援していました。礼儀正しくて、いつも感謝の気持ちを伝えてくれます。自分を律して競技に挑む選手たちに、自分たちの力を十分に発揮して充実した大会になるように支えてあげたい、いつもそんな感じです。

「大地の芸術祭」「水と土の芸術祭」を事例に

平成20年度

第3回地域振興フォーラム開催！

2月20日(金) 財地域総合整備財団(ふるさと財団)が主催する平成20年度「第3回 地域振興フォーラム」が新潟市のホテル日航新潟で開催されました。会場には、十日町市・津南町から45人が参加したほか、県内外から、250人の参加者が集まり、盛況となりました。

このフォーラムは、地域振興や地域活性化の支援・促進することを目的として、毎年全国各地で開催されています。今回は「芸術文化による地域振興」をテーマに、当地域の「大地の芸術祭」と新潟市の「水と土の芸術祭」を事例に取り上げて、シンポジウムや交流会が行われました。

■活動報告講演

最初に、北川フラム氏が、「大地の芸術祭」「水と土の芸術祭」での取り組みを紹介し、その意義を話しました。

北川 フラム氏(大地の芸術祭総合ディレクター・水と土の芸術祭ディレクター)

地球全体と地域をいっしょに考えなければならぬ時代になっていきます。地域はアートの力によって、地域の力を発信し始めています。

その空間の雰囲気など、アートはその場に行かなければ絶対に分からないものです。アートは、人の心を開く力、人を呼び込む力があります。それがアートの力です。

世界中の諸都市は、文化芸術の力



で地域の時間・歴史を再構成しようとしています。それしか地域が生き残る道はありません。その意味で、越後妻有と新潟市は、大きな可能性を秘めています。

■パネルディスカッション

3人のパネリストを中心に、文化芸術による地域振興について議論が交わされました。

○パネリスト

伊藤 文吉氏(北方文化博物館館長)

日本は急速に便利になりましたが、個性あるはずの地域の文化が便利なコンクリートの文化で画一化されてしまっています。

美しいということは、色彩の調和も大事です。パリは街の景観に赤色を使っではないけないというルールがあります。日本はまちづくりにはルールがないように思います。

欧米には、「旅に出ることはすばらしい。しかし、家に帰ることはもっとすばらしい」という言葉があります。ゆつくりと自分の郷土を見つめ、旅の目的地にするようなまちづくりをしてほしいです。

マリ クリスティーンヌ氏(異文化コミュニケーション・国連ハビタット親善大使)

交流人口は地域おこし・まちづくりにとって大切なことですが、交流した人たちがいかにリピーターしてくれるか、いかに定着してくれるか、そのためにいかに魅力的な地域になれるかが、大事なことです。どうやったら地元の人にとって生活の質

全てを更地にしてビルを建てるような開発ではなく、あるものを生かしていくようなやり方になりました。それが近代の遺産をアートでよみがえらせ、地域に貢献することになったのです。

現在、全国の同じような活動とネットワークを作りたいと思っています。そうしたネットワークによって、悩みや課題を共有できる。それがアサヒアートフェスティバルです。

地域を切り捨てて、大量生産・消費を推し進めてきましたが、それでは社会はもたなくなってきました。地域には地域の経済のあり様があります。それを成り立たせるのがアートの力です。

日本文化の特色の一つとして、生活の中にアート力を持っていました。が、いつの間にか失われてしまいました。それをもう一度呼び戻すことが大事です。

○コーディネーター

後藤 靖子氏(国土交通省北陸信越運輸局長)

仕事でニューヨークに行ったとき、日本人は自分たちの地域の良さを分かっていないと思いました。それを伝えたいといけません。

山形県副知事時代に、課題・悩みが多い地方でもそこで生きていくという人たちの姿を見て、地方は

ダメだというステレオタイプを吹き飛ばしたいと思いました。

その中で、アートで地域おこしをしたいという地域(肘折温泉)がありました。何ができるか不安でしたが、肘折らしいものを作り上げることができました。

こうした取り組みからアートは地域の魅力を再構成してくれるものと認識しています。

○コメンテーター

篠田 昭氏(新潟市長)

「水」と「土」が、新潟市全体のアイデンティティ形成に役立つと考えています。明治の大合併前の地域にアートがかかわり、地域・コミュニティを掘り起こすことに芸術祭がなればうれしい。芸術祭をきっかけに地域にきずなが復活したね、と言われるようになればと考えています。

田口 直人氏(十日町市長)

芸術祭を始めるとき、アートで本当に地域振興ができるのか、地域の人たちは確信が持てませんでした。が、回を重ねるごとに地域で汗を流し、頑張ってきた人たちの顔が変わってきました。

一方で、市街地で作品を展開していくことや既存の芸術文化と連携することが課題になっています。



これからは、養蚕に付加価値をつけてグッズを作る動きなどが始まっているので、こうした中から本物ができていくことを期待しています。

大地の芸術祭は、産みの苦しみはありましたが、第3回展終了後には旅館組合が継続要望を出すまでになりました。今回も新潟市との連携プレーで地域づくりにつながればと考えています。

北川 フラム氏

人々に一番リアリティがある約200の集落にこだわったことが、大地の芸術祭ではうまくいきました。

アートは、農業の営みをとおして先人が培った土地の密度といったものを明らかにする良さがあります。

芸術祭を始めるとき、反対もありましたが、反対があったからこそ、

(クオリティ・オブ・ライフ)が高い地域になるか考えることが必要です。

そのために、その地域の根っこにある文化をないがしろにせず、その重要性や価値にきちんと目を向けておくことが必要です。

ほくほく線と飯山線は、地域にとって非常に大事な存在です。アートの力でぜひ両線を守ってほしい。



加藤 種男氏(財アサヒビール芸術文化財団事務局長)

横浜市中田市長が就任したとき、歴史的建造物である銀行跡地を何とか使えないかという相談を受けました。私は、文化芸術で使うこと、NPOのような民間の公益性の高い団体で行うことを要望しました。それがバンカート(BankART)として生まれ変わったのです。

皆も考え、その意味が分かってきました。

大地の芸術祭は、イベントをやるなどという気持ちはありません。アートをイベントにしたら絶対にうまくいきません。

私は、人間が社会や自然に働きかけるための技術や試みをアートだと考えています。芸術祭でアートの概念を変えたいと思っています。

■交流会

シンポジウム終了後、参加者同士で、芸術文化をとおした地域振興について熱い思いを語り合いました。また、「大地の芸術祭」と「水と土の芸術祭」サポーターの間で、この夏行われる互いの芸術祭の成功を願ってのエール交歓も行われました。



雪を使ったアートをとおして自然と一体に

越後妻有

雪アートプロジェクト

2月21日(土)・22日(日)の2日間、ミオンなかさとまつだい農舞台を会場に越後妻有雪アートプロジェクトが開催されました。この雪アートプロジェクトは、いよいよ今夏に迫った第4回大地の芸術祭のプレイベントとして行われ、雪やこの地域ならではの風習などを数々の芸術作品やイベントで表現し、訪れた人たちを迎えました。

雪国ならではの雪アートで冬を楽しむ

ミオンなかさと

ミオンなかさとでは、新潟で活躍するアーティスト13人で結成した「雪アート・新潟ユニット」と富永敏博さん、そして貝野地区振興会の皆さんが協働で制作したアート作品が並びました。

雪山を作りかき氷シロップをかけ

芸術祭取り込み 地域おこし

貝野地区振興会副会長 中島哲雄さん



少雪という自然の試練が、作品や配置などを徹底的に見直すきっかけ

る「かき氷マウンテン」(富永敏博)では、地元の子どもたちが小さきままな雪山にイチゴやメロンなどのシロップをかけ、その雪山を滑り台にして遊ぶなど、満面の笑みを浮かべて楽しんでいました。

昨年に引き続き、「夢の大ぞり」

になり、結果的に昨年と違う試みことができました。何より地区の人たちが自ら楽しみ、協力したからこそイベントでした。振興会は以前から地域の活性化や、人やものの掘り起こしをしてきました。雪アートや芸術祭への協力をきっかけに、地区の人たちが何かしようというときに、抵抗感なくやってみようという意識が変わったと思います。地区内の人の輪が広がっているようにも感じています。

新しい雪遊び アーティストが提案

まつだい農舞台

まつだい農舞台では、この冬初めて雪アートプロジェクトを実施。大地の芸術祭参加予定のアーティストやパフォーマーが、雪の新しい風景や遊び方を作品やイベントにして制作し、2日間で延べ900人が来場しました。

イベント「天空郵便」では、随所に自然を取り入れた舞台演出が、イベントの後半に降った雪と絶妙にマッチして、美しい風景を見せました。

地域の力アーティストをサポート

開場でひととき目立ったのは、たほりつこさんの「KissSnow2009」。クレーンで雪上を飛行して雪に体ごとキスをするこの体験は、雪を触ったことのある人にとっても新鮮な雪体験となり連日定員の25人を超える盛況でした。そのほかに、木村崇人さんは、真っ白な雪のキャンパスに約200羽の「雁」の群を出現させ、豊福亮さんは、2009年夏の作品の一部となるメダル作りのワークショップを行いました。

また、21日(土)の夕方に開催された

雪上散策ガイド

す。そこでも、地

域住民たちの知

恵と豊かな経験

が、作家たちの大

きな支えとなっ

ています。



大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2009

企画発表会開催

●問合せ：芸術祭推進室
☎757-2637

■日時＝4月4日(土) 午後6時30分～(開場6時)

■会場＝クロス10 大ホール

■内容＝

○開会セレモニー

○北川フラム総合ディレクターによる第4回展の企画概要発表及び地元在住・出身アーティストなどの紹介

○地元集落や協力団体による芸術祭開催に向けた取り組み紹介

○こへび隊など地域外サポーターによるパフォーマンスとメッセージ

○新潟市「水と土の芸術祭」サポーターからのエール

○閉会(午後8時30分ごろを予定)

当日の会場では、鑑賞チケットとなる共通パスポートも販売します。

※入場無料

今年、第4回大地の芸術祭の開催年です。7月26日(日)から9月13日(日)までの会期を迎えるにあたり、地元での企画発表会を行います。今回の芸術祭の魅力や開催に向けて活動している地域の皆さん、サポーターなどの熱い思いをお伝えします。大地の芸術祭に関心のある人なら誰でも参加できます。ぜひ、この会で芸術祭開催に向けた地元の機運を盛り上げましょう。

や「かまくらギャラリーロード」などを発表した「雪アート・新潟ユニット」の前山忠さんは、「作家同士の共同作業は初めての試みでした。新潟在住だからこそ、雪の良し悪しを知り尽くしています。それをアートの切り口で脱却したかったんです」と話していました。



「かき氷マウンテン」(富永敏博 作)

会場では振興会によるもちつきや抹茶がふるまわれ、威勢のよいもちつきの様子に人垣ができ、つきたてのおもちはあつという間になくなっていました。

シンポジウム 「廃校こそ地域活性化の起爆剤」開催

第4回大地の芸術祭は、廃校をアートで活用する廃校プロジェクトが目玉になっています。芸術祭を前に、廃校を活用した地域活性化について、皆さんで語り合ひましょう。

■日時：3月22日(日) 午後3時～5時30分

■会場：清津峡小学校

■内容：

○基調講演(午後3時～3時30分)

「瀬戸内における地域の再生に学ぶ」

講師：三井文博氏

(NPO法人アーキペラゴ理事)

○パネルディスカッション(午後3時30分～5時)

〈ラウンドテーブル形式〉

コーディネーター：北川フラム氏

(大地の芸術祭総合ディレクター)

パネリスト：田島征三氏ほか大地の芸術祭で廃校や空家の活用に取り組む地域の皆さん

○交流会(午後5時～5時30分)

●問合せ：NPO法人越後妻有里山協働機構 ☎597-3770

中里支所地域振興課 ☎763-2511

定額給付金などを装った「振り込め詐欺」や「個人情報」の搾取に注意！

～十日町警察署からのお知らせ～

定額給付金などに関して、次のことにご注意ください。

☆市や国などが「ATM（銀行・コンビニなどの現金自動預払機）」の操作をお願いすることは、絶対にありません。

☆ATMを自分で操作して、他人からお金を振り込んでもらうことは、絶対にできません。

☆市や国などが「定額給付金」の給付のために、手数料などの振込を求めることは、絶対にありません。

自宅や職場などに市や国（の職員）をかたった電話がかかってきたり、郵便が届いたりしたら、迷わず十日町警察署（☎752-0110または警察相談電話#9110）に連絡してください。

申請書の受付とスケジュール

申請書と添付書類は同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。次の施設では持参提出や記入相談も受け付けます。

◎本庁・各支所・中央公民館・中条公民館・下条公民館・川治公民館・吉田公民館・水沢公民館・飛渡公民館・市役所分庁舎

◆本庁では申請書受付窓口の時間延長を行います。

（場所：本庁 正面玄関）

平日：平成21年3月18日(水)～3月31日(火)

午後5時30分～7時

土日祝：平成21年3月20日(木)、22日(土)、28日(土)、29日(日)

午前9時～午後5時（3月21日(土)は除きます）

◆主なスケジュール

3月17日(火)	申請書発送開始
3月18日(水)	申請書受付開始
4月13日(月)～15日(水)	定額給付金など振込（ゆうちょ銀行以外）
4月20日(月)	定額給付金など振込（ゆうちょ銀行）
4月23日(木)～24日(金)	定額給付金など振込（ゆうちょ銀行以外）
4月30日(木)	定額給付金など振込（ゆうちょ銀行）
9月18日(金)	申請書受付など締め切り

1、振込日については予定であり、現在、金融機関と調整中です。

2、5月以降も概ね月2回程度の振り込みを予定しています。

3、ハガキにより振込日及び振込額をあらかじめお知らせします。

定額給付金、子育て応援特別手当の申請が始まります

◎詳しくは申請書といっしょに同封する「給付金の申請・受給に関する手引き」をご覧ください。

◎提出期限9月18日(金)（消印有効）までに提出してください。

（定額給付金・子育て応援特別手当とも）

◎問合せ 定額給付金・子育て応援特別手当事務局 ☎757-3691

定額給付金

◎給付対象となるのは次の人です

平成21年2月1日(基準日)において

①住民基本台帳に記録されている（いわゆる住民登録している）人

②外国人登録原票に登録されている人のうち次の人

ア…特別永住者

イ…出入国管理及び難民認定法に定める在留資格を有している人（ただし、短期滞在者は除く）

基準日において、住民登録・外国人登録している市町村から給付されます。

◎給付額

給付対象者1人当たり、12、000円

ただし、基準日において65歳以上（昭和19年2月2日以前に生まれた人）並びに18歳以下（平成2年2月2日以降に生まれた人）については1人当たり、20、000円

◎申請・給付の手続き

1…住民登録情報をもとに世帯主（申請・受給者）あてに市から申請書を送付します。

2…申請書の記載内容の確認と所定の項目を記入し、同封する返信用封筒で返送してください。その際、本人確認書類として、振込口座通帳の写し（口座番号・カタカナ口座名義人が印字されている部分）も忘れず

Q&A

Q…給付金を受け取る前に転出することになりました。どうしたら良いですか。

A…新しい住所地の市町村役場で転入手続きを行ってください。それに基づき、十日町市定額給付金事務局から案内を発送します。

Q…世帯主が高齢です。代わりにほかの世帯員が申請をしてもいいですか。

A…世帯主の了解のもと、世帯構成員が代理申請・代理受給を行うことは可能です。

Q…世帯は一つですが、二世帯で住んでいます。別々の口座に振り込むことはできますか。

A…できません。一つの世帯で指定できる振込口座は一つだけです。

Q…給付金の受け取りを辞退したいのですが。

A…世帯全員が受け取りを辞退するのであれば、申請書の返送は不要です。事務局では、受付締め切り日までに申請書の返送がなければ、受け取りを辞退したものとみなします。個別に辞退する場合は、申請書の名前欄を線で消し、余白に辞退と書いてください。

子育て応援特別手当

◎対象になる子ども

平成2年4月2日から平成17年4月1日までの間に生まれた子どもが2人以上いて、そのうち平成14年4月2日から平成17年4月1日までの間に生まれた2番目以降の子どもが手当の対象になります。

平成21年2月1日現在の世帯状況を基準にします。

※別居していても保険証の扶養になっている子どもは対象になります。

詳細や不明な点については問い合わせてください。

に同封してください。

本庁・各支所などへ直接持参していただいても受け付けます。

3…市に届いた申請書について不備がないか審査します。

不備があった際、電話で確認する場合がありますが、振込口座情報を聞くことは絶対にありません。

4…審査後、世帯主（申請・受給者）あてに「給付金決定通知書兼振込通知書」を送付します。

5…申請書に記入した口座へ振り込みます。

※対象者名及び給付金額については、あらかじめ申請書に記載してあります。

Q…振込ではなく、直接現金を受け取りたいのですが。

A…市内20、000世帯が対象となり、1世帯あたりに給付される金額も大きなものですので、防犯上の観点からも口座振込でお願いします。口座を持つていない場合は、事務局にご相談ください。

Q…市役所から「給付金を振り込む口座番号が違っている」と電話がありました。どうしたら良いですか。

A…市役所では警察署の指導もあり、電話による給付金振込口座の情報を確認することは絶対にありません。万一、そのような電話がありましたら、至急、事務局へ連絡をお願いします。市では、口座情報に関係する問合せは、すべて郵便で行います。

Q…ゆうちょ銀行の口座番号はどの番号を書くのですか。

A…定額給付金などの振込は、従来から使っているゆうちょ銀行の番号（5桁―8桁）で手続きを行うよう日本郵政から要請を受けています。申請書の振込口座欄には、従来の記号番号を記入してください。

Q…十日町市に住民登録をしないで住んでいます。どうしたら良いですか。

A…まず、事務局に相談してください。

◎手当の金額

平成14年4月2日から平成17年4月1日の間に生まれた2番目以降の子ども1人当たり、36、000円

◎手当を申請する人

対象となる子どもの世帯の世帯主です。父母とは限りません。

◎申請・給付の手続き

1…対象になる子どもがいる世帯は市が住民基本台帳で把握し、申請書類を定額給付金申請書類とともに送付します。

※別居している子どもについては市で事前に把握することができませんので、対象になるかどうかも含めて事務局に相談してください。

2…申請書には対象になる子どもについて、あらかじめ市で把握している範囲で記入してあります。その内容について間違いがないか確認してください。

3…申請書に所定のことからを記入し、添付書類をそろえてください。添付書類は別居している子どもがいる場合を除き、定額給付金と同じです。

※別居している子どもについては、保険証の扶養になっていることが必要です。この場合、その保険証の写しも必要になります。

4…定額給付金の返信用封筒に同封して返送してください。

特別徴収（年金からの天引き）の人は納め方を口座振替に変更することができます

金融機関窓口で口座振替依頼書を作成後（すでに作成済みの場合は再作成不要）、介護国保課または各支所市民課で手続きをすることにより、特別徴収を口座振替に変更できます。

◆手続きに必要なもの

- ・口座振替依頼書の本人控え（新規の人のみ）
- ・保険証
- ・印鑑

※口座振替に変更した場合、社会保険料控除は口座名義人に適用されます。また、年金からの天引きの場合は、年金受給者に適用されます。

平成21年度分の保険料の納め方

◎特別徴収（年金からの天引き）の人は6回の年金支給の際に保険料を納付してもらいます。

●4・6・8月…仮徴収
平成21年2月の年金からの徴収額と同額を3回納めます。

●10・12・2月…本徴収
確定した年間保険料額から仮徴収分を差し引いた額を3回に分けて納めます。

※平成20年度の保険料追加軽減策（均等割額8・5割）に該当し、昨年8月の年金からの納付を最後に保険料徴収が中断されていた人は、7・9月は普通徴収（納付書または口座振替による納付）となり、10月から特別徴収が再開されます。

◎普通徴収（納付書または口座振替で納付）の人

7月から翌年3月まで毎月、納付書または口座振替で納めてもらいます。口座振替の手続きをすると、納め忘れがなく便利です。

ただし、75歳に到達するなど年度途中に加入した場合は、加入後6か月程度で特別徴収へ切り替わる場合がありますので、個別に送付される通知書で確認してください。

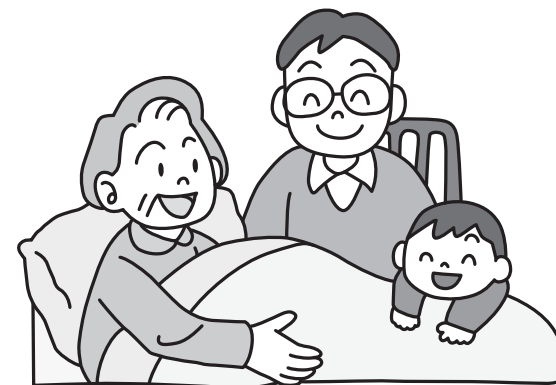


長寿医療制度

（後期高齢者医療制度）
～お知らせ～ ⑥

平成21年度の保険料について

●問合せ 介護国保課国保係 ☎757-3735



平成21年度の保険料額は7月にお知らせします

平成21年度の保険料額は、前年中の収入状況に基づいて7月1日に算定されます。加入者の皆さんへは、7月中旬に「平成21年度の保険料額のお知らせ」を送付します。

●平成21年度の保険料率

保険料率は、県内後期高齢者の医療給付金（医療費から自己負担額を除いた額）の1割を、加入者全員でまかなえるように算定します。

●保険料の計算方法

1人当たりの保険料額 = 所得割額（前年中の総所得額－基礎控除33万円）×7.15% + 均等割額 1人につき 35,300円

保険料の軽減制度

（自動的に適用されますので申請の必要はありません）

◎所得の低い人への軽減

前年中の所得状況に応じて保険料が軽減されます。

●所得割額の軽減

個人の所得状況に応じて所得割額を5割軽減します。

※年金収入のみの場合は211万円以下の人が対象

●均等割額の軽減

世帯の所得状況に応じて均等割額を軽減します（軽減割合は2割・5割・7割・9割）。

◎会社の健康保険などの被用者保険の被扶養者であった人への軽減

制度加入前日まで保険料負担のなかった被用者保険の被扶養者であった人は、制度加入から2年間は保険料が軽減されます（国民健康保険や国保組合などを除く）。

●所得割額と均等割額の軽減

制度加入から2年間、所得割額がかからず、均等割額を軽減します。平成21年度の保険料額は、3,500円となります。

国民健康保険についてのお知らせ

高齢受給者証の自己負担割合の変更が延長されます

医療制度の改正により、平成21年4月から70～74歳の人の自己負担割合が1割から2割に変更される予定でしたが、経過措置の延長で平成22年3月まで1割に据え置かれることになりました。

これに伴い、高齢受給者証の自己負担割合の表記が「2割（平成21年3月31日までは1割）」となっている人は、4月1日(水)から「2割（平成21年7月31日までは1割）」に変更します。変更後の高齢受給者証は、3月19日(木)に発送予定です。

高齢受給者証が届いたら、住所・世帯主氏名・被保険者氏名など記載事項を確認し、誤りがある場合は届け出てください。また、裏面の注意事項もよくお読みください。4月1日以降、今までの高齢受給者証は使用できませんので、誤使用を防ぐために必ず裁断するなどして破棄するか、介護国保課国保係または各支所市民課に返還してください。

※自己負担割合が3割の人は変更ありません。

●問合せ 介護国保課国保係 ☎757-3735

◆国保加入者が

交通事故などに遭ったときは◆

交通事故などにより第三者（他人）から傷害を受け、国保の保険証で病院などにかかった場合は、必ず介護国保課国保係へ被害届を提出してください。

かかった医療費は、加害者の全額負担が原則です。一時的に国保が立て替え、後で加害者に請求します。

こちら市役所窓口です

今年も就職・転勤・進学などの時期になりました。転出日・転出先が決まったら、早めに手続きにおいでください。この異動の期間、市では一部の窓口業務を延長しますので、ご利用ください。

また、情報館では年間をととして土・日曜日、祝日に各種証明書の発行業務などを行っています。本町分庁舎でも平日に各種証明書の発行業務を行っていますので、ご利用ください。

年度末は混雑が予想されます 届出はお早めに

3月・4月は窓口が大変混雑します。証明書の発行に時間がかかることもありますので、ご了承ください。特に、休日の前後や昼休みは混雑が予想されます。ほかの時間を利用すると、待ち時間が少なくなります。

本庁の窓口業務を延長します

3月23日(月)～4月10日(金)の間、市民生活課市民係・年金係、介護国保課国保係の窓口を午後7時まで延長します。延長時間中は、対応する職員が少なくなるためお待たせすることがあります。ご了承ください。

なお、4月13日(月)からは午後5時30分までの通常業務となります。

延長窓口の業務内容

延長窓口では、次のサービスを行っています。

- ① 戸籍事務
出生届、婚姻届、死亡届、離婚届、戸籍・除籍・改製原戸籍証明書の発行など
- ② 住民基本台帳事務
転入・転出・転居届、世帯主変更届、住民票の写しの発行など
- ③ 印鑑証明書発行事務
印鑑登録・印鑑登録証明書の発行
- ④ 自動車臨時運行許可事務
- ⑤ 外国人登録事務

やさしさと自然を結ぶ下水道

問合せ
上下水道局
下水道維持係
☎ 757-3115

下水道整備区域

3年以内の接続を

下水道は、河川や農業用水路の水質保全と生活環境の向上を担う重要な施設です。このため、毎年投資を行い、下水道が使用できるよう整備しています。

下水道法では、下水道が使えるようになった区域に、「3年以内にくみ取り便所を水洗便所に改造しなければならぬ」と義務付けています。下水道が使用できる区域の皆さんは、一日も早い接続をお願いします。

下水道使用料

下水管の修理・清掃や、処理場で汚水をきれいな水に還元する費用の一部に充てるため、使用した水の量に応じて下水道使用料を納めてもらいます。

使用料には、水をたくさん使うほど割高になる累進使用料金方式を採用しています。

下水道接続工事への融資制度

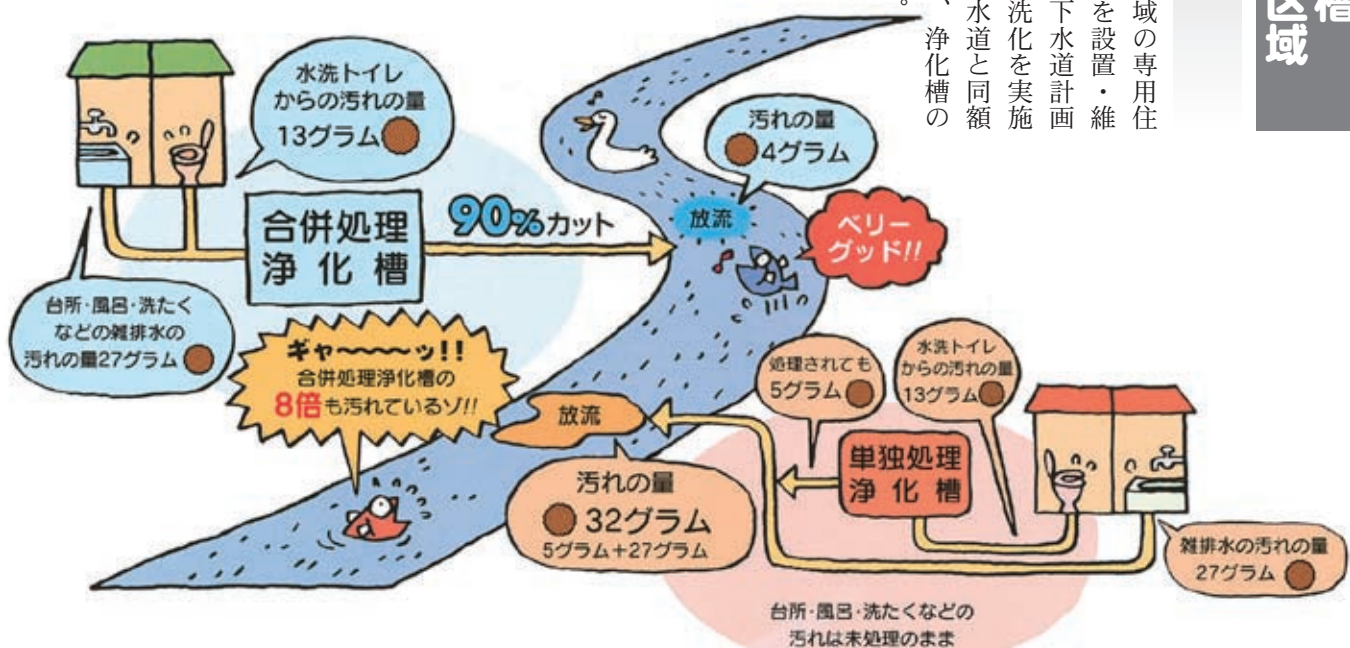
- ◆ 貸付利率 2・2%
- ◆ 貸付限度額 100万円
- ◆ 返済期間 最長60か月



合併処理浄化槽への転換を

合併処理浄化槽を設置した家は、単独処理浄化槽を設置した家に比べ、水路や川などに放流される生活排水の汚れの量が1/8までに減少します。

制度の利用についての相談や事業の対象区域などの詳細は、上下水道局へ問い合わせてください。



合併処理浄化槽整備区域

浄化槽整備事業

合併処理浄化槽整備区域の専用住宅について、市が浄化槽を設置・維持管理を行う事業です。下水道計画区域と同様の負担額で水洗化を実施することが出来ます。下水道と同額の使用料を納めてもらい、浄化槽の維持管理は市が行います。

⑥ 国民年金関係用務

出生届、死亡届、転入・転出・転居届に伴う児童手当、児童扶養手当及び国民年金の各種請求などの受付

⑦ 国民健康保険関係用務

出生届、死亡届、転入・転出・転居届に伴う国民健康保険に関する申請などの受付

意

注

旅券（パスポート）事務及び住基カード発行事務（公的個人認証含む）は延長しません。旅券は午後5時、住基カードは午後4時30分までに窓口においでください。

情報館で土・日曜日、祝日に証明書発行业務を実施中

情報館では、市役所が閉庁する土・日曜日と祝日に、市民生活に密着した4種類の証明書を発行しています。

- ◆ 受付・発行場所 十日町情報館
- ◆ 受付時間 1階西側カウンター

- ◆ 受付時間 午前9時30分～午後5時

- ◆ 発行できる証明書と発行手数料

- ① 戸籍の全部事項証明書（謄本） 【1通450円】

戸籍や住民票などの請求時に本人確認を行っています

戸籍法及び住民基本台帳法の改正により、戸籍や住民票などの請求時に本人確認を行っています。申請する場合は、免許証や住基カード（写真付き）などの本人確認書類をお持ちください。詳細は、市民生活課市民係へお問い合わせください。

◆ 請求方法

手続きは市役所窓口と同じです。各請求書を記入のうえ、受付窓口へ提出してください。

- ② 戸籍の個人事項証明書（抄本） 【1通450円】

- ③ 住民票の写し 【1通300円】

- ④ 印鑑登録証明書（1通300円）

※印鑑登録証明書を請求する人は、必ず印鑑登録証を持参してください。印鑑登録証の提示がないと発行できません。

問合せ

市民生活課市民係
☎ 757-3116



第4回地域ケア会議の様子

「人と人をつなぎ、支えあいの心を育むために」。この理念を掲げ、昨年12月、川西地域で『かわにしNPO地域支えあい組織設立準備委員会』が設立されました。委員は、福祉を中心としたさまざまな分野で活動する14人で構成されています。

地域支えあい、を目標して！ かわにしNPO地域支えあい組織 設立準備委員会を設立

かわにし新聞

川西支所
☎768-3111

川西地域では、以前からボランティア活動が盛んで、30を超える団体と1,000人余りの会員が地域のボランティア活動を支えています。しかし、近年は会員の高齢化や減少により組織の硬直化が進み、地域での活動が十分にできない状況となってきました。そのことが地域力の低下などにもつながり、今まで地域で解決してきたさまざまな問題への対応を遅らせる要因の一つとなっています。さらに、行政だけではすぐに解決できない地域の課題も増えています。

こうした中、平成19年度に川西地域協議会と市が協働で川西地域振興計画を策定しました。その計画では、「支えあい支援 地域で支えるボランティア活動」を重点プロジェクトとして位置付け、多くのボランティア団体などとのワークショップを積み重ねてきました。また、川西地域

ケア会議でも、このことについての審議を進めてきました。

この結果、担い手の育成やスキルアップ研修、ボランティア同士のつながり、情報発信などの支援、さらにこれまでのボランティアでは担うことのできなかった支援を実施するとともに、それを可能とするため経済的に自立した、『かわにしNPO地域支えあい組織』を立ち上げ、地域福祉活動の連携と協働の促進を目指していくこととなりました。このNPOは、「地域支えあい」を理念とし、地域の特性や資源を生かしながら、安全・安心でいつまでも快適に暮らし続けられる川西地域を、住民自らが参画し、創り出していく組織として期待されています。



会議では活発に議論が交わされます



それぞれの分野で活躍中！準備委員会の皆さん

かわにしNPO地域支えあい組織設立準備委員会では、これまで『かじまの家の』（三条市）などへの視察研修や、新潟NPO協会からの指導を受けながら設立準備を行ってきました。平成21年度からは、上野地区コミュニティセンター1階事務室を活動拠点として、地域の皆さんからご理解とご協力を得ながら、NPO設立に向け、本格的に活動を行っていきます。

●かわにしNPO地域支えあい組織
についての意見・問合せ
川西支所市民課福祉介護係
☎768-4957

湯コー米マイ心ハート まつのやま

冬期講座開催

～頭も体もいきいきと暮らすには～

2月3日(火)～26日(木)の間、松之山地域内の24会場で冬期講座が開催され、延べ316人が参加しました。この講座は、冬の間、家に閉じこもりがちな地域住民を対象に、約30年前から保健師が中心となり保健指導や健康相談を行っているものです。今年のテーマは『頭も体もいきいきと暮らすには』。今年度から始まった特定健診（メタボ健診）の結果などから見えてきた健康問題、特に年々増えてきている糖尿病や糖尿病予備軍、脳卒中の予防などについて詳しく説明がありました。さらに、健康指導だけでなく、運動不足になりがちなの時期に体を動かして筋肉と骨を刺激し、転んでも骨折しにくい体づくりをする「けんこつ体操」なども行われました。また、悪徳商法・振り込め詐欺防止の注意点や定額給付金制度についてなど行政からのお知らせもあり、地域住民からは、「地上」デジタル放送を見るに



はどうしたらいいのか」「台所にはどんな種類の火災警報機を設置したらいいのか」などの質問が寄せられていました。各会場とも講座の最後には、希望者を対象に血圧測定を実施。個別に血圧の確認や健康相談が行われ、和やかな雰囲気の中に終了しました。

松里地区雪上運動会開催

2月15日(日)、晴天の中、松之山温泉スキー場で松里地区雪上運動会が開催されました。スキー競技では、保育園児・小学生の大回転や距離競技に、保護者から熱い声援が送られていました。

この日一番のメイン競技は、集落対抗の雪積みリレー。各チームともそれぞれ作戦を立て、いかに高く積み上げるか競いました。朝方の冷え込みで雪面が堅く、参加者は雪の固まりを掘り出すに苦労。計測前に崩れてしまったチームもあり、「早く測って～！」の声が挙がっていました。1位は湯本集落チームで、記録は2m24cmでした。



第26回 松之山温泉スキー場 スキーカーニバル



【同日開催!!】JOCジュニアオリンピックカップ モーグル競技

◎日時：3月22日(日) 午前10時30分～午後3時

◎会場：松之山温泉スキー場 ちびっ子広場

松之山のスキーシーズンを締めくくる楽しいイベントが盛りだくさん！雪上ミニゲーム・アートショー・餅つき大会のほか、味の屋台村も好評です。家族や友だちといっしょに参加してみませんか。

※雪上ミニゲーム：パン食い競走・雪玉ストラックアウト・色水入れりレー・福まき ほか

(参加受付は当日会場内の本部テントで行います)

◎問合せ

市観光協会松之山支部 ☎596-3011

<http://www.matsunoyama.com/kankou/>



水落 ゆうな ちゃん
みずおち ゆうなちゃん
平成18年5月21生まれ
南新田町3

雪遊びが大好きなゆうなちゃんは、ママの妹のさやかお姉ちゃんとともに仲良し。いつもいっしょに遊びます。最近ママのお手伝いに興味津々で、お皿をふいたり、タマゴを割ったり、たくさんお仕事をしてくれます。

あ
い
ど
る
キ
ャ
ラ
ー

45



村山 龍大 ちゃん
むらやま たつひろちゃん
平成17年2月16生まれ
北浦田

現在お着がえ練習中のたつちゃん。お気に入り、お兄ちゃんたちが北海道へスキー合宿に行ったときに買ってきてくれたキタキツネのぬいぐるみ。“プリンちゃん”と名前を付けて、とっても大事にしています。

ときめき
ネットワーク

45

皆さんの協力、選手の頑張りに感謝！

中学から大学まで、陸上の長距離をやっていました。今も細々と続けています。昨年10月まで十日町高校で体育講師をしていたのですが、そのときのつながりで、休日は部活の手伝いをしつつ、自分の練習も少しやっています。体は疲れても気分はスッカリ。仕事の疲れが癒されます。体が動く限りは若い人といっしょに走り続けたいですね。中・高生が、陸上が好きな気持ちをずっと持ち続けていくくれるように、手助けをしていきたいです。

2月に開催されたトキめき新潟国体では表彰式を担当しました。リレー3種目とも新潟県チームが優勝したのは冗談抜きでうれしかったですですね。国体は大変な仕事でしたが、これをきっかけにいろいろな県選手団の皆さんとかかわれたことは、僕にとって大きな財産になりました。競技役員や補助員をしてくれた高校生、そして感動させてくれた選手の皆様、ありがとうございました！



瀧澤 翔太 さん
1983年生
十日町市役所勤務

先月の小海智香さんからのバトンタッチ。

予防接種の目的は、病気に対する抵抗力（免疫）を体内に作ってお子さんの健康を守ることと、感染症の流行を防ぐことの2つです。

予防接種にはそれぞれ適した年齢がありますので、その年齢のなるべく早い時期に、お子さんの健康状態のよいときに合わせて受けるようにしましょう。

年長児・中1・高3の年齢の人は麻しん風しんの予防接種を受けましたか？

麻しん（はしか）は、感染力が強く、予防接種を受けていないと多くの人がかかる病気です。場合によっては、数千人に1人の割合で死に至ることがあ

子どもの健康を守る予防接種を受けましょう

ります。また、風しんも大人になつてからかかる」と重症になる病気です。

平成20年度の麻しん風しん予防接種第2〜4期の接種期限は、3月31日（火）です。対象となるのは次の皆さんですので、まだ予防接種を受けていない人は、早急に受けてください。

▼第2期…平成14年4月2日〜平成15年4月1日生まれの人
▼第3期…平成7年4月2日〜平成8年4月1日生まれの人
▼第4期…平成2年4月2日〜平成3年4月1日生まれの人

《定期の予防接種》

予防接種の種類	対象年齢	標準的な接種期間	接種回数・間隔
B C G	生後6か月未満	生後3か月以上6か月未満	1回接種
ポリオ	生後3か月以上7歳6か月未満	生後3か月以上18か月未満	41日以上の間隔で2回接種
三種混合	第1期初回 第1期追加	生後3か月以上7歳6か月未満	生後3か月以上12か月未満 20〜56日の間隔で3回接種
二種混合	第2期	11歳以上13歳未満	11歳 1回接種
麻しん 風しん	第1期	1歳以上2歳未満	— 1回接種
	第2期	小学校就学の前年度	— 1回接種
	第3期	中学1年生に相当する年齢	— 1回接種
	第4期	高校3年生に相当する年齢	— 1回接種

※日本脳炎予防接種は現在、厚生労働省の通知により接種勧奨を控えています。
※対象年齢の枠からはずれて接種する場合は、任意接種（自費）となります。



問合せ

健康支援課母子保健係
☎ 757-9759

● **問合せ** 総合政策課企画政策係
☎ 757-3193

今回の会議では、利用者の増加に向けた検討を深めるため、まず事務局が実施すべき取り組みの素案を提案しました。その提案について、出席した委員から積極的な発言がありました。以下に内容の一部を紹介します。

今後の検討経過は、引き続き市報でお知らせしていきます。市民の皆さんもご意見などをお寄せください。



検討会議の様子

	利用者増加の取り組み（素案の一部）	委員の意見
①	駅舎の機能の強化（コミュニティスペースの確保・充実など）	駅舎だけでなく、周辺の景観形成や隣接公園の活用なども併せて考えることが、利用促進につながるはず。
②	地域資源を生かした特産品の開発や、その情報発信（温泉や雪を利用した新たな産品など）	休耕地などに首都圏から人を受け入れ、市民が共に作業に当たれば、産品開発と交流促進の両得になるのではないかと。
③	観光施設や観光事業者との連携（誘客プランなどの商品化と圏外への戦略的販売など）	首都圏から車で来た人が、飯山線の駅舎や線路を写真撮影している。飯山線は観光資源として、もっとお客を取り込めるだろう。
④	北陸新幹線の新上越駅への乗り入れに関する調査・研究	新上越駅よりも糸魚川駅に乗り入れる方が、沿線住民の利用が期待できるうえ、北陸新幹線の乗客を当地に呼び込む面で優位ではないかと。

4
回
目
の
鉄
道
検
討
会
議
を
開
催
し
ま
し
た

十日町市自立支援協議会 委員を募集します

市では、障害者が安心して暮らせる地域づくりを目指し、障害福祉に関する協議を行うための協議会の委員を募集します。

- ◎**募集人数**：4人（協議会は15人以内で構成）
- ◎**応募資格**：満20歳以上で市内に住所を有する人
- ◎**任期**：委嘱の日から平成22年3月31日まで（1年）
- ◎**報酬**：1回の出席につき5,500円（税込）※会議は年3回程度開催予定
- ◎**応募方法**：障害者、障害児の福祉に関する作文（400字程度）に住所、氏名、性別、生年月日、電話番号、職業を記載して提出
- ◎**応募機関**：3月16日(月)～30日(月)（必着）
- ◎**選考方法**：原則は書類審査
※結果は4月上旬に文書で通知
- ◎**申込み・問合せ**
福祉課障害福祉係 ☎757-3782

発電用取水により極端な減水状態にある信濃川中流部の水環境及び水利用の調和を図るための方策を検討・実現することを目的として、平成11年1月に設置された「信濃川中流域水環境検討協議会」の第18回会議が2月23日(月)にクロス10大ホールで開催されました。

減水問題をめぐっては、J R信濃川発電所の違法取水行為に対し水利権取消処分が開始された直後であり、大きな関心が寄せられ多くの傍聴者、報道関係者が集まりました。事務局の国土交通省より、平成20年度調査結果、J R違法取水の影響説明及び減水区間で確保すべき流量を9つの観点から学術的な検討の結果、宮中ダム直下で毎秒40トン、西大滝ダム直下で毎秒20トンを確保すべき流量とする「水環境改善に係る提言書（案）」が示されました。

第18回信濃川中流域水環境検討協議会が開催されました

しかし、田口市長はじめ学識委員より40トンでは、魚が生きていける最低限を示したものであり、水利権が白紙に戻った現状では理解しがたい内容であるとの指摘があり、表現方法を含め次回3月23日(月)に改めて検討することになりました。

地域の特色 食で表現 松之山温泉棚田鍋

地域の食材や食文化を生かし、松之山ならではの定番料理の開発を進めていた松之山商工会小規模事業者新事業全国展開支援事業の実行委員会のメンバーが、2月27日(金)に「松之山温泉棚田鍋」のお披露目を行いました。同実行委員会は、松之山地域内の旅館や商工業事業者などが加盟していて、料理メニューの開発のほかツアー商品の企画



販売など地域の農商工連携による地域振興を進めています。このほど完成した「棚田鍋」は、アドバイザーに齋藤草雄さん（コンラッド東京日本料理総括料理長）を迎え、スープに地元産コシヒカリの汁を使うことや温泉水を使ったり雪をイメージできることなどをルール化し、具材や料理方法は各旅館の持ち味で作るオリジナルな鍋料理になっています。（問合せ：松之山商工会 ☎596-2174）



まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係（☎757-3112）へ、気軽にお寄せください。

tokamachi topics

十日町市
消防団

女性消防団員を募集します

十日町市消防団では、消防団を充実強化し、地域コミュニティの結びつきを深め、安全・安心のまちづくりを推進するために、女性消防団員を募集します。



消防団員はボランティア的な活動を行う“特別職の地方公務員”です。

- 募集人員**：若干名（但し、定員に達し次第締め切ります）
- 応募資格**：市内に居住、または勤務する18歳以上50歳未満の健康な女性
- 採用時期・募集期間**：通年
- 応募方法**：十日町市女性消防団員入団申込書に必要事項を記入のうえ、提出してください（申込書は消防本部、各分署、分遣所に用意してあります）。
- 活動内容**：①各種行事への参加（消防演習、防災訓練、出初式など）②防火活動（高齢者宅防火訪問、防火広報、火災予防運動への参加など）③救急講習の普及活動
- 報酬等**：①報酬…出勤ごとに費用弁償を支給、年間一定額の報酬を支給②被服…制服、制帽、活動服、アポロキャップなどの貸与③福利厚生…公務災害補償制度、福祉共済制度、互助事業制度、退職報償金支給制度（勤続5年以上）など
- 申込み・問合せ**：十日町地域消防本部総務課消防団係 ☎757-0119（内線224）



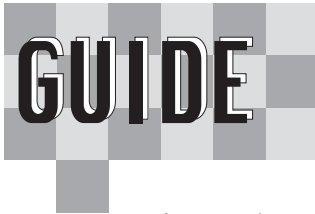
食の安全は手作り食品で

かたくりの会（野上ヤウ会長）主催による手作りみそ講習会が2月28日(土)、JA十日町で開催されました。かたくりの会は、農村女性の経営・社会参画の促進や農村地域の活性化を図ることを目的として新潟県が認定している農村地域生活アドバイザーのうち、十日町地域のメンバー14人で構成されています。今回作ったみそは、冬前にはおいしく食べられるという事です。みそ作りのほか笹団子や米粉ピザの講習会を行い、手作り食品の安全性をこれからも訴えていきます。

カナダ・ビクトリア ホームステイ

東京都日野市の「ひの社会教育センター」は、下条地域と15年にわたり交流を続けています。その一環として昨年から国際交流事業で、市内の中学生1人を「春休み語学研修とホームステイ体験」でカナダ・ビクトリアに10日間の派遣を始めました。第1回目の昨年は、川西中3年生の白井咲貴さんが派遣されました。2回目の今年は、作文と面接により下条中1年生の小海倫史さん（写真右）が参加することになり、村山教育長（写真左）から、「体調管理に注意して元気に行ってください」と激励を受けました。出発は3月25日(水)。小海さんは、未知の体験に期待を膨らませていました。





お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111



はぐくみのまちづくりフォーラム
第3弾 活動発表会

●日時 3月16日(月)午後7時～8時30分 ●会場 クロス10 ●内容 下条・中里中学校区、(幼)十日町青年会議所の取り組み発表 など ●問合せ 生涯学習課 (☎ 757-8918)

講演会『洪水とたたかったムラびとたち』

高島村の人々が信濃川の洪水といかにたたかってきたかを読み解きます。 ●日時 3月28日(土)午後1時30分～3時30分 ●会場 情報館 ●入場料 無料 ●講師 丸山克巳さん(古文書整理ボランティア代表) ●定員 先

着100人 ●問合せ 情報館 (☎ 750-5100)

「世界一受けたい授業」出演の内藤貴雄さん講演会

●期日 3月15日(日) ●会場 クロス10 ●内容・時間 第一部・午後2時～5時・講演「スポーツと視機能『ビジョントレーニング』」内藤貴雄さん(特別視機能研究所所長) ▼第二部・午後5時30分～7時30分・パネルディスカッション・意見交換「スポーツによる地域の活性化に向けて」 ●参加費 第一部・1,000円(資料代) ▼第二部・無料 ●申込み・問合せ スポーツ振興課 (☎ 752-4377)

手話教室

●日時 4月8日(水)～12月2日(水)の毎週水曜日午後7時30分～(全23回) ●会場 中央公民館 ※4月8日(開講式)は本町分庁舎 ●受講料 3,000円(テキスト代含む) ●申込み・問合せ 4月1日(水)までに市社会福祉協議会 (☎ 750-5010)

小売店「活性化」セミナー

店舗運営のヒントを見つけるセミナーです。 ●日時 3月16日(月)午後7時～9時 ●会場 十

唄手・八戸美奈子、津軽民踊手踊会太田流社中、津軽三味線遠藤、S ●入場券取扱い・問合せ 佐藤 (☎ 757-6276)

第22回信濃川河岸段丘ウォーク

●期日 4月29日(昭和の日) ●コース ①Aコース50km(津南町～小千谷市) ②Bコース42km(中里～小千谷市) ③Cコース25km(川西～小千谷市) ④Dコース23km(津南町～十日町市) ⑤Eコース15km(十日町市内) ⑥Fコース12km(小千谷市内) ●参加費 ①A～Dコース・大人2,000円(当日2,500円)、中学生以下1,500円(当日1,800円) ▼E・Fコース・大人1,000円(当日1,500円)、中学生以下500円(当日800円) ●申込み・問合せ 4月26日(日)午後5時(郵送の場合4月20日(月)までに市総合体育館 (☎ 752-4377)、川西総合体育館

寄付ありがとう
2月25日届出分まで(敬称略)

- とおかまち応援寄付金へ＝安井充典(岡山県岡山市)
- 交通遺児基金へ＝(勸)十日町地区交通安全協会(92,000円)
- 情報館へ＝庭野勇吉(高田町3西) 渡邊富治(学校町1) 阿部芳平(本町東1) 水品さやか(新町新田) 五十嵐順子(千葉県我孫子市)
- 博物館へ＝厩沢幸吉(稲荷町3) 田口裕子(四日町2) 高橋勝(中条八幡)



ネージュスポーツクラブ クラブ会員・正会員(運営スタッフ)募集

申込み用紙は市総合体育館にあります。詳しくは問い合わせください。 ●申込み・問合せ ①ネージュスポーツクラブ事務局 (☎ 757-1889) ※4月からは市総合体育館内 ☎ 752-4377へ

新潟県中越地震復興基金 21年度地域復興支援事業募集

地域復興文化イベントの開催を支援します。対象となる事業を募集中です。詳しくは(勸)新潟県中越地震復興基金ホームページ (http://www.chuetsu-fukukoukin.jp/) をご覧ください

日町商工会議所 ●入場料 無料 ●講師 太田巳津彦氏(NPO法人一店逸品運動協会理事長) ●申込み・問合せ 十日町専門店会 (☎ 752-2738)

新入社員実務基礎セミナー

必要な基礎知識やマナーを学びます。 ●日時 4月10日(金)午前9時～午後5時 ●会場 十日町商工会議所 ●受講料 2,000円(昼食・資料代含む) ※非会員は4,000円 ●持ち物 筆記用具 ●申込み・問合せ 3月27日(金)までに、申込書に受講料を添えて十日町商工会議所 (☎ 757-5111)

キナレきもの歴史館 企画展

第60回十日町雪まつりを記念し、雪まつりが始まった昭和20年の時代を「きもの」で振り返ります。 ●会期 3月22日(日)午前10時～午後5時 ●会場 キナレきもの歴史館 ●入館料 大人300円、中学生100円、小学生以下無料 ●問合せ キナレ (☎ 752-0117)

キナレ体験工房館 きもの着付け教室

●日時 4～5月の毎週木曜日

さい。 ●応募期限 3月31日(火) ●申込み・問合せ (勸)新潟県中越地震復興基金 (☎ 025-280-5767)



定期点検のため、公的個人認証申請(電子証明書取得)ができません

ご理解・ご協力をお願いいたします。 ●日時 3月18日(水)終日 ●問合せ 市民生活課市民係(内線153)

市役所本庁舎の作業停電を行います

高圧自家用受電設備定期点検のため、市役所本庁舎が停電します。 ●日時 3月21日(土)午前9時～正午 ●問合せ 財政課管財係(内線223)

【本庁舎の停電に伴い、情報館での証明書発行ができません】

ご理解・ご協力をお願いします。

●日時 21日(土)午前9時30分(始業)～午後1時 ●問合せ 市民生活課市民係(内線154)

事業主の皆さんへ

21年度から、労働保険料年度

十日町地域体育施設(12施設)が指定管理制度に移行します

十日町地域体育施設のうち、次の12施設が指定管理制度へ移行します。これにより、施設管理者が市から下記団体へ変更となります。市総合体育館の利用時間についても、若干の変更がありますのでご注意ください。

【対象施設】市総合体育館・市民体育館・武道館・市民スポーツハウス・笹山野球場・城ヶ丘テニスコート・信濃川運動公園・青少年運動広場・水沢運動公園・陸上競技場・市民プール・十日町総合公園(野球場・テニスコート)

【指定管理者】団体名称：特定非営利活動法人エヌピーオータスク 所在地：十日町市稲葉453番地3 ☎ 757-8125 F A X 752-5875

【市総合体育館の利用時間について】・休館日が毎月第3火曜日のみとなります。・トレーニング室の利用時間が午前9時～午後9時30分(日曜日・祝日は午後5時まで)に変更となります。 ◎問合せ スポーツ振興課 ☎ 752-4377

午後1時30分～3時30分(全9回) ●会場 キナレ体験工房館 ●参加費 1回500円 ※きもの一式持参(有料貸出あり) ●定員 10人(当日受付可) ●申込み・問合せ キナレ (☎ 752-0117)

中村文昭氏ライブトーク 『何とかいけるで人生は!』

仕事や勉強、子育てなどに生かせるヒントを学びます。 ●日時 3月24日(火)午後7時～9時(開場6時) ●会場 市民会館

更新及び一般拠出金申告・納付の手続き期間が次のとおり変更されます。詳しくは問い合わせください。 ●年度更新手続き期間 6月1日(月)～7月10日(金) ●年度更新申告書の発送時期 5月29日(金) ●問合せ 新潟労働局労働保険徴収課 (☎ 025-234-5921) または最寄りの労働基準監督署

展示替えのため、まつだい農舞台が休館となります

ご理解・ご協力をお願いいたします。 ●期間 3月23日(月)～27日(金) ●問合せ まつだい農舞台 (☎ 595-6180)

「道路ふれあい月間」推進標語募集

毎年8月は「道路ふれあい月間」です。国土交通省では、21年度の「道路ふれあい月間」推進標語を募集しています。※詳しくは国土交通省ホームページ (http://www.mlit.go.jp/report/press/road01-hh_000050.htm) へ ●応募締切り 3月31日(火)(必着) ●問合せ 国土交通省道路局道路交通管理課・平成21年度「道路ふれあい月間」推進標語募集係 (☎ 03-5253-8111)

●入場料 前売1,000円(当日1,500円)、高校生以下無料 ●チケット取扱い 田中新開店、キジマ棟、ロードマン川西店、モダン食堂キチ、フランク理容室、ホープ歯科クリニック ●問合せ ホープ歯科クリニック (☎ 752-0525)

三清会20周年記念 唄と踊りの誘い

●日時 3月29日(日)正午 ●会場 市民会館 ●入場料 無料 ※入場券が必要 ●出演 津軽民謡

あすこたわ

▼児童の作品を紹介しているジュニア芸術祭、取材行くと、最初は恥ずかしさや緊張であまり話をしてくれなくても、一つ一つの作品に児童のこだわりや工夫、思い出がたくさん詰まっています。色彩やからくりなど表現はさまざまですが、どれも感心する作品ばかりです。

▼例えば、リングが青かったり、犬が虹色だったり。これはこういうもの、という考えにとられていない子どもの作品は不思議で魅力的です。子どもたちにはかなわなくても、奇抜で自由な表現や発想はいつまでも心がけていたい。職場で現在愛用している、保育園のときに自分で絵を描いたマグカップは、いつもそんな気持ちを与えてくれます。

▼スポーツには、言葉で言い表せないドラマがありますが、取材で国体クロスカントリー競技場にて、大会を目前にできたことは幸せでした。「やってよかった」。感謝、ねぎらい、称賛などあらゆる気持ちが込められたこの一言。しみじみと国体を振り返った庭野さんの言葉に重みを感じます。国体本大会の前にこの冬季大会が開催され、新潟県が総合優勝を飾ったことで、本大会の開催に一層弾みがつきます。そのきっかけの一つが今回の十日町市会場であることに違いありません。大会から1週間ほどたった吉田競技場では、中越学童親善クロスカントリー競技が開催されました。頑張る児童たちの大きな声援が飛んでいました。



(鈴)



ジュンとおさんぽ



太田絵利香さん(1年)
家で飼っていた犬のジュンとさんぽに行きました。今は死んで、いないけど可愛がっていたので、思い出を版画にしました。じょうずにできました。



クリスマスのおしろ



島田明樹奈さん(2年)

中の円筒が回り、いろいろな人が窓から見えるようになっています。人やキャラクターがたくさんいます。一番好きなキャラクターはドラえもんです。



ジュニア芸術祭

45

鑑島小学校



ラッコと水遊び



酒井瑠理さん(3年)

ラッコと遊んでいるところです。ラッコの本を見ながら描きました。特に好きではなかったラッコですが、描いているうちに好きになりました。



ゆうびんやさんとドロップりゅう



柳 ひろむさん(4年)

ゆうびんやさんとドロップりゅうがお茶を飲んでいるところです。みんなでなわとびをして遊ぶ約束や好きな食べ物の話をしています。じょうぎの穴を使ってドロップりゅうの模様を描きました。



森の中の動物達



保坂知里さん(5年)

モモンガやヤマネ、野ウサギ、リスが森で隠れています。人の知らないところで、動物たちが必死で生きていることを伝えたいと思いました。動物の毛並みを表現できるように工夫して彫りました。



苦しかったスキー部活



栗林千那さん(6年)

苦しそうなる表情になるように彫りました。土・日の部活で雪がないときは、いろんなところに行けて楽しかったです。今シーズンの大会に全部出て、できるだけ入賞するように自主練習を頑張りたいです。